

教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」

あ さ ひ こ
中朝日子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

令和 3 年 5 月 18 日 (火) 第 3 号

著・編 校長 雑賀 裕 (TEL 66-2058)

<http://hatano-js.sado.ed.jp/>

E-mail hatano-js@sado.ed.jp

“新しい景色を見に行こう”

5月14日(金)に「佐渡市中学校陸上競技大会」が行われました。当校からも、23名の選手が出場し自己のベスト記録に挑戦してきました。当日は、コロナ禍の影響により無観客ではありましたが、選手たちは真剣な表情で競技に臨んでいました。学校に残った全校生徒の思いや、ご家族の皆さんの応援が選手一人ひとりにしっかりと届いていたものと思います。

～校長講話「一部抜粋」+α～ (5月17日：全校朝会)

今日、皆さんに伝えたい内容は、“取り組むことで得られる体験がある” “やり遂げた者だけが見られる景色がある” ということです。

陸上競技大会への出場を考えたとき、「つらい・たいへん」等の思いが先行し、出場を迷った人も居たのではないのでしょうか？(私も経験があります)。今回出場した23名の選手にも似たような感覚があったのかもしれませんが、しかし、23名は不安を閉じ込めて選手として出場することを選択しました。大会当日、真剣な眼差しや達成感に満ちた清々しい表情がたくさんありました。選手の皆さんは、きっと始める前には感じられなかった新しい感覚を受け止めていたものと思います。やり遂げた者にしか見えない景色が見えていたのではないのでしょうか。選手の皆さんは、記録や順位に対しいろいろな感想を持っているかもしれませんが、私は、皆さんが「よし、やってみよう！」と決意した勇気と努力を最大限に称えたいと思います。 → 裏面に続きます。



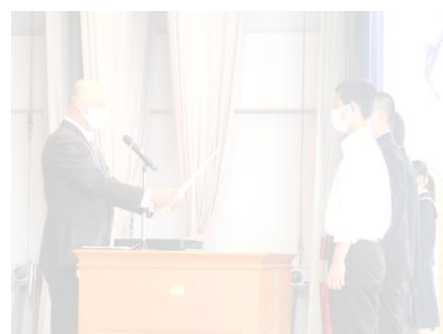
次に、5月15日(土)に行われたPTA環境厚生部主催の奉仕作業についてです。当日は、生徒・保護者・職員を合わせて約90名の参加がありました。保護者の皆様の黙々と作業を進められている姿は、生徒たちの心を耕すものでした。皆さんのお陰で、大変きれいで使いやすいグラウンドになりました。本当にありがとうございました。



今回は、陸上競技大会と奉仕作業の二つの出来事を例に紹介しましたが、物事に取り組む場面は、行事に限らず日常生活の至る所にあると思います。「面倒だなー」と思っていたことでも、気持ちを切り換えてやってみることで新しい発見があるものです。畑野中学校の全員がいろいろなものに挑戦をして、これまで気が付かなかった新しい景色をみんなに見てもらいたいと思います。

【栄光の記録】 ※種目順、敬称略

男子 800m	本間	6位	2' 24" 37
男子 110m h	中川	5位	21" 08
男子 三段跳	長嶋	2位	9m 48
男子 砲丸投	渡部	6位	8m 30
男子 四種競技	本間	2位	1498点
男子 四種競技	金森	3位	1160点
1年男子 走幅跳	藤田	2位	4m 82
1年男子 走幅跳	仲村	3位	4m 59
女子 100m	計良	3位	14" 75
女子 4×100R	①本間、②渡邊 ③駒形、④計良		
女子 砲丸投	中川	2位	8m 99
1年女子 800m	椿	6位	2' 56" 77



5位 57" 05

